

<ホームエンタテイメント市場ポテンシャル分析>

大ヒット公開中『シン・エヴァンゲリオン劇場版』 配信・DVD でもメディア問わず高い鑑賞意欲

エンタテイメント業界に向けたデータ×デジタルマーケティングサービスを提供する GEM Partners 株式会社(ジェムパートナーズ、 所在地:東京都港区、 代表取締役:梅津文)は4月9日(金)、大ヒットを記録している『シン・エヴァンゲリオン劇場版』のホームエンタテイメント市場におけるポテンシャルを分析いたしました。

公開4週を迎え、4月7日時点で興行収入70億円を突破するなど、シリーズ最高の記録を更新し続けている『シン・エヴァンゲリオン劇場版』。コアファンのみならず、幅広いファン層を獲得している同作だけに、ホームエンタテイメント市場における各メディア「DVD・BD(レンタル、セル)、動画配信(SVOD、TVOD、EST)」での記録にも期待が高まります。

そこで、ホームエンタテイメント市場でリリース(発売・配信)される主要な映画・ドラマ作品のメディア別意欲などをインタラクティブに分析できるオンラインダッシュボード「BIRDS 作品別詳細」を用いて、『シン・エヴァンゲリオン劇場版』はどのメディアでの鑑賞意欲が高いのか、性年代別ではどのような動きがあるのかを分析しました。

【調査ハイライト】

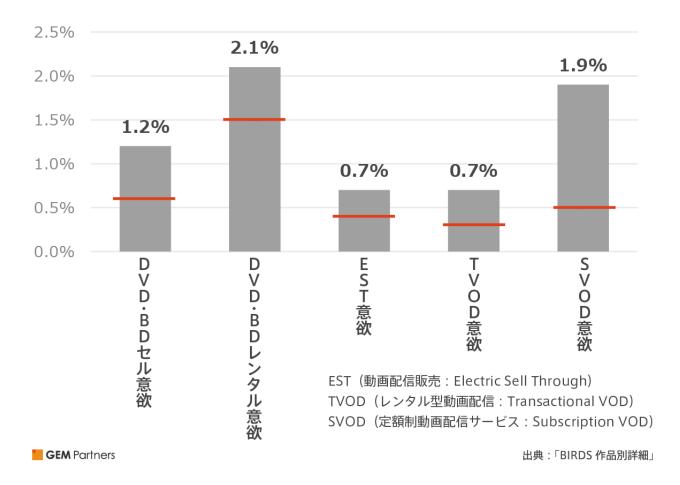
- メディアを問わず全般的に高い鑑賞意欲 最も高いのは「DVD・BD レンタル」、平均値との差が大きいのは「SVOD」
- 性年代別では男性 30 代以上が高い意欲、SVOD では若年層も反応

■ メディアを問わず全般的に高い鑑賞意欲、最も高いのは「DVD・BD レンタル」、平均値との差が大きいのは「SVOD」

『シン・エヴァンゲリオン劇場版』メディア別意欲

各値は劇場公開週から 4 週目までの平均値(調査日:2021年3月13日、20日、27日、4月2日) 調査対象:日本在住の15~69歳の男女

---- 2013 年 12 月以降に 100 スクリーン以上で劇場公開された邦画アニメの平均値



上記グラフは、『シン・エヴァンゲリオン劇場版』のホームエンタテイメント市場におけるメディア 別の意欲率です。横棒は邦画ア二メ作品の平均値を示しており、どの指標も平均値以上を記録。本作 がホームエンタテイメント市場においても全般的に高い鑑賞意欲を誇っていることが伺えます。

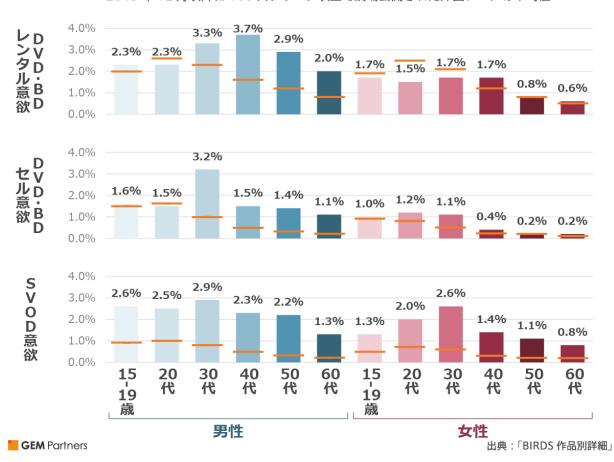
メディア別に意欲をみると、最も高い意欲を示したのは 2.1%を記録した「DVD・BD レンタル意欲」でした。一方、平均値に対して最も差をつけたのは「SVOD 意欲」、次いで「DVD・BD セル意欲」となりました。平均値に比べて、DVD・BD セルはコアファンが多く存在し、SVOD になれば"定額"で観たいポテンシャルファンも多く存在すると推察されます。

■ 性年代別では男性 30 代以上が高い意欲、SVOD では若年層も反応

『シン・エヴァンゲリオン劇場版』 メディア別 性年代別意欲

各値は劇場公開週から 4 週目までの平均値(調査日: 2021 年 3 月 13 日、20 日、27 日、4 月 2 日) 調査対象:日本在住の 15 ~ 69 歳の男女

----- 2013 年 12 月以降に 100 スクリーン以上で劇場公開された邦画アニメの平均値



上図は分析ツールを利用してメディア別に抽出した性年代別の意欲率です。全体的に男性の意欲が高く、女性は低めの傾向にあることが分かります。個別にみると、「DVD・BD レンタル意欲」は。男性 30 代以上の意欲が平均値よりも高くなりました。一方、女性は 40 代が平均値を超えていますが、それ以外は平均値並、もしくは以下となっています。

同じフィジカル媒体である「DVD・BD セル意欲」は特徴的な値を示しました。男性 30 代以上、女性 20 代~40 代が平均値よりも高いですが、なかでも男性 30 代の意欲率が突出していることが分かります。一方、「SVOD 意欲」は、男女ともに 20 代以下の若年層も高い意欲を示し、全体的に平均値を大きく上回りました。なかでも男女 30 代が高い意欲を示しています。

『エヴァンゲリオン』シリーズ初の映像化作品となるテレビアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』が放送されたのは、1995年~1996年。現在の30代は放送当時、小学生から中学生であり、いわゆる"リアルタイム世代"。そのため、他年代よりもコア層が多く、突出した男性30代のセル意欲をはじめ、レンタル意欲、SVOD意欲でも高いことが改めてデータからも分かりました。

「BIDRS 作品別詳細」は、劇場公開時(劇場公開週から4週目までの各週、および8週目)と、ホームエンタテイメント商品リリース時(提供日を起点に4週前から3週目までの各週)の2ポイントで調査を行います。劇場公開直後のデータは、ホームエンタテイメント市場におけるポテンシャル把握や宣伝戦略の立案に、リリース時データは、提供日の4週前から聴取が始まるため、宣伝活動がユーザーに響いているかどうかの効果測定に活用いただけます。

■「BIRDS 作品別詳細」

調査方法/対象:インターネットアンケート/全国に住む 15〜69 歳の男女

回答者数:5000人前後

重みづけ:総務省発表の人口統計、CATS参加率を参考に各調査者を性年代・映画鑑賞頻度別に重みづけ

調査対象作品:映画:劇場公開時の公開規模が 100 スクリーン以上の洋画、邦画から、作品数と最終興収

を鑑みて調査、HE 限定作品:弊社指定の主要作品

■「BIRDS 作品別詳細」の詳細、購入、お問い合わせ

https://gem-standard.com/p/products/141

■会社概要

会社名: GEM Partners 株式会社 設立: 2008 年 3 月 17 日 代表取締役: 梅津 文

事業内容:エンタテインメントビジネス領域で下記に関わる一切のこと(マーケティング戦略の立案と実

行モニタリング/デジタルマーケティング実行/メディアの企画・運営)

コーポレートサイト: https://www.gempartners.com/

サービスサイト: 「GEM Standard」https://gem-standard.com/

■本件に関するお問い合わせ先

GEM Partners (ジェムパートナーズ) 株式会社

担当:河西(かさい)、西川

電話: 03-6303-1346 メールアドレス: info@gempartners.com